

ではありません。それでは日本語のかわりに英語を使う利点を並べてみましょう。

- ・文字数が少ない。26文字の倍（大小文字）と記号だけ。
- ・キーボードで文字を打つのが簡単。変換が要らない。
- ・敬語がない。上司でも部下でも同じ表現でいい。
- ・始めに結論を言う。だから話が短かくて済む。
- ・インターネットにある情報は英語が一番多い。
- ・まだ翻訳されてない英語の本を読める。
- ・英語の映画を字幕なしで楽しめる。
- ・英語の歌の意味が分かる。
- ・文法が比較的簡単。
- ・発音も意外と簡単。
- ・無料の教材が多い。
- ・世界中で使える。
- ・転職に有利。

こうした実利的な利点の他に、世界の動きに興味を持つという利点もあります。世界のニュースのうち日本語になって日本人に届くのはごく一部です。日本のマスコミが紙面や時間の都合で報道しなかったニュースを、海外のメディアから英語で直接知ることが出来ます。New York Times や Wall Street Journal などは世界中のビジネスマンが常に注目しています。閉塞感ただよう日本から、英語という鍵を使ってもっと大きな世界への扉を開けませんか。

以下の表記について：《と》で囲まれた段落は補足説明です。時間がない場合はこの部分を飛ばしてもかまいません。

《 筆者は会社に入るまで英語が不得手でした。出張でアメリカに行き、英語で仕事をする状況に追い込まれて始めて本格的に英語の練習を始めました。ですからもし今英語が必要だと思うなら、今日から練習を始めても決して遅くはありません。なるべく短時間で上達するために、効率の良い練習方法をこの本にまとめました。》